



京都大学

「グローバル時代のポストアーバン戦略に向けて」



教員

教授	山田 忠史
名誉教授	小林 潔司
客員教授	高田 昌行
客員教授	筒井 祐治
客員教授	本田 武志

目的

ポストアーバン社会が出現しつつあります。グローバル化された高度知識社会では、知識や技術が目まぐるしく変化し、せっかく獲得した知識が時代おくれになるスピードが非常に早くなっています。E-コマースやテレコミュティングの進展の結果、先端都市は生産都市から消費都市へ変貌を遂げようとしています。人々の新しい生き方が模索される中で、時間の忙しさに対抗して学習の時間を獲得し、新しいライフパターンをどのように実現するかが求められるようになってきました。本講座では、このようなポストアーバン社会の到来を見据えて、①世界経済のグローバル化とアジア地域のサプライチェーンの進化の中で、都市・地域のグローバルな定位置を確保するためのロジスティクス戦略、②インバウンドツーリズムを基軸とした都市・地域の広域連携戦略、③スーパーメガリジョン形成とコンパクト化した都市圏戦略、④起業家育成とソーシャルキャピタル投資を通じた地域振興戦略について、実際の実例を踏まえながら研究・普及活動等を行い、都市・地域マネジメントに携わる実務者・技術者・研究者（産・官・学）の知識の共有及びコラボレーションを図るとともに、この分野を支えるに相応しい幅広い視野を持った人材の育成を行います。

活動成果の紹介

1) アジア経済統合と国際ロジスティックシステム戦略

アジア地域は世界の半分の人口と経済規模を有する躍動的な地域です。このようなアジア地域の経済発展を国際的ロジスティックシステムが支えています。国際ロジスティックシステムは、規模の経済性や複雑に彩られた世界であり、その運営のガバナンスを達成するためには極めて高度な計画・マネジメント戦略が必要となります。本講座では、港湾物流高度化寄附講座と連携を図りながら、世界規模で展開する国際ロジスティックシステム戦略に関する分析や政策提言を行える人材の育成を目指します。

2) ポストアーバン社会における都市・地域政策

ポストアーバン社会では、都市・地域がグローバル経済と直結しており、都市・地域政策の進展にあたっては極めて多様な経済主体やステークホルダーと連携を図りながら、戦略的な都市・地域政策を推進していくことが重要です。そのためには、都市・地域システムのグローバルな変化に関する的確な把握に努めるとともに、単一の部門やシステムを越えた総合的な戦略のコーディネーションが必要になります。そのために、本講座では官民協同まちづくり実践寄附講座と連携を図りながら、多様なステークホルダーと連携を図りながら地域振興やまちづくりを進展させることができる人材の育成を目指します。